

県営吉田金取北地区土地改良事業計画書

区画整理事業

（農地中間管理機構関連農地整備事業（一般型））

宮 城 県

目

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象 及 び 海 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
3.	海 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形, 土壌及び侵食の程度	3
2.	土 地 分 類	4
3.	土 地 利 用 の 状 況	4
4.	土 地 所 有 の 状 況	5
第 3 節	水 利 状 況	5
1.	用 水 状 況	5
2.	排 水 状 況	8
3.	河 川 状 況	11

次

第 4 節	道 路 現 況	12
1.	道 路 概 況	12
2.	主 要 道 路 一 覧 表	12
第 5 節	地 域 農 業 の 概 況	14
1.	産 業 別 就 業 人 口	14
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	14
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	15
4.	主 要 作 物 作 付 状 況	15
5.	農 業 の 動 向	16
第 6 節	地 域 環 境 の 概 況	16
第 4 章	一 般 計 画	17
第 1 節	事 業 計 画 の 要 旨	17
1.	要 旨	17
2.	事 業 別 面 積	17
第2節	営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画	18
1.	営 農 計 画 の 概 要	18
2.	土 地 利 用 区 分	18

3.	作 付 方 式	19	第6節	農 用 地 造 成 計 画	33
4.	生 産 計 画	20	1.	農 用 地 造 成 計 画	33
5.	労 働 改 善 計 画	20	2.	土 壌 改 良	33
6.	級地別土地利用区分	21	第7節	洪 水 調 節 計 画	33
7.	土 地 配 分 計 画	21	1.	計 画 基 準 雨 量	33
第 3 節	用 水 計 画	22	2.	計 画 洪 水 量 及 び 調 節 量	33
1.	計 画 基 準 年	22	3.	貯 水 池	33
2.	計 画 か ん が い 方 式	22	4.	洪水調節検討	34
3.	計 画 用 水 系 統	23	5.	管 理 計 画	34
4.	計 画 用 水 量	24	第8節	干 拓 計 画	34
5.	水 源 計 画	25	第9節	農 用 地 整 備 計 画	35
第 4 節	排 水 計 画	27	1.	区 画 整 理	35
1.	計 画 基 準 雨 量	27	2.	暗 渠 排 水	37
2.	計 画 排 水 方 式	27	3.	客 土	37
3.	計 画 排 水 系 統	28	4.	農 地 保 全	37
4.	計 画 排 水 量	29	第10節	老朽ため池改修計画	38
5.	排 水 対 策	30	1.	洪 水 吐 改 修 計 画	38
6.	湛 水 検 討	31	2.	堤 体 補 強 計 画	38
第 5 節	道 路 計 画	31	3.	取 水 施 設 改 修 計 画	38

1.	道 路 及 び 索 道	31
2.	路 線 配 置 図	32
第 5 章	主 要 工 事 計 画	39
第 1 節	用 水 施 設	39
1.	貯 水 池	39
2.	頭 首 工	39
3.	揚 水 機	39
4.	用 水 路	40
5.	その他かんがい施設	40
第 2 節	排 水 施 設	40
1.	排 水 水 門	40
2.	排 水 機	40
3.	排 水 路	41
4.	その他排水施設	41
第 3 節	道 路 及 び 索 道	41
1.	道 路	41
2.	索 道	42
第 4 節	農 用 地 造 成	42
1.	農 用 地 造 成	42
2.	土 壌 改 良	43

第 6 節	干 拓 施 設	44
1.	堤 防	44
2.	潮 止 め	44
3.	付 属 施 設	44
4.	埋 立	44
第 7 節	農 用 地 整 備 施 設	45
1.	区 画 整 理	45
2.	暗 渠 排 水	45
3.	客 土	46
4.	除 礫	46
5.	農 地 保 全	46
第 8 節	老朽ため池改修施設	47
1.	貯 水 池	47
2.	堤 体 補 強 施 設	47
第 6 章	附 帯 工 事 計 画	48
第 7 章	工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期	48
第 8 章	環 境 と の 調 和 へ の 配 慮	48

第 5 節	洪水調節施設	43
1.	貯水池	43
2.	頭首工及び導水施設	43
第 9 章	換地計画の概要	48
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	48
第 2 節	換地区の設定	48
1.	換地区の名称，所在，面積	48
2.	換地区を設定する理由	49
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	49
1.	従前の土地の地積の基準	49
2.	用途別予定地積	49
3.	農用地集団化の方針	50
4.	非農用地換地の方法	50
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	50
1.	評価の方法	50
2.	清算の方法	50
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	51
第 6 節	換地処分の特則	51
第 10 章	事業費の総額及び内訳	51
第 11 章	効 用	52

第 12 章	関 連 す る 事 業	52
第 13 章	現 況 ・ 計 画 図 面	53

第 1 章 目 的

本地区は、宮城県の北部、大和町の西部（吉田地区）に位置し、一級河川南川とその支流準用河川根古川と一級河川吉田川に挟まれた丘陵地に展開する水田地帯である。地区の傾斜は1/20～1/95程度（主傾斜1/35）の傾斜を有している急傾斜地区である。受益地の標高は52.1m～144.3mである。

地区内の農地は5ブロックに分かれており、一部を除き昭和30年代から60年代に5～20a区画に整備されているが、区画は小さく、末端の用排水路は未整備のうえ道路幅員も狭小であることなどから大型機械の導入が困難な状況である。このため営農には多くの労力を必要とし生産性が低く近代的農業経営へ向け大きな支障となっている。

従って、農地中間管理機構関連農地整備事業によりほ場の大区画化、道路・末端用排水路、暗渠排水等の整備を一体的に行い、耕地の汎用化や水管理等の合理化を図るとともに、農地の利用集積と経営体の育成・支援を一体的に行い、効率的かつ安定的な農業経営の確立を行い、集積化を加速し豊かで競争力ある農業の実現を目指すものである。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第 1 節 地 域

（第 1 表）

事 業 名	地 域
区画整理事業	宮城県黒川郡大和町吉田字金取北地内

第 2 節 地 積

（令和 6 年 3 月現在）（第 2 表）

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	山 原 林 野 (ha)	道水路敷 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
区画整理事業	大和町	47.4	0.3	－	6.9	－	54.6	
合 計		47.4	0.3	－	6.9	－	54.6	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名 観測期間	大衡観測所		かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
	H26年～R5年		5月～8月	9月～4月		
平均気温(℃)			20.7	7.6	12.0	
降水量	平均(mm)		594.0	717.0	1,311.0	
	基準年(mm)		566.0	926.0	1,492.0	
降水日数	平均(日)		46	71	117	
	基準年(日)		64.0	69.0	133	
根雪期間			-月-日-月-日-日間			
無霜期間			-月-日-月-日-日間			
最多風向			NW	最大風速 (風向)	13.3 m/s (-)	最多風向発生時期 4月～7月 最大風速発生年月日 -

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 大衡観測所 観測期間	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	
S18～R4																
最大日雨量 (mm)	340	S23.9.16	1/381	239	R1.10.12	1/58	211	H23.9.21	1/33	207	S33.9.18	1/30	207	S61.8.5	1/30	
最大2日連続 雨量(mm)	361	S23.9.15	1/89	318	R1.10.12	1/50	307	H23.9.20	1/43	282	S33.9.17	1/30	281	S61.8.4	1/29	
最大3日連続 雨量(mm)	361	S23.9.15	1/93	344	R1.10.11	1/72	340	S23.9.16	1/68	319	R1.10.12	1/50	313	H23.9.20	1/45	
最大連続 雨量(mm)	407	S25.7.28	1/46	389	R4.7.12	1/37	384	S22.9.7	1/34	361	S23.9.15	1/26	357	S33.7.19	1/24	
最大連続旱天 日数(日)	79	S63.10.14	1/214	65	H25.1.28	1/36	63	H29.10.30	1/63	62	H12.1.14	1/25	56	H22.1.1	1/12	

3. 海 象

該当なしに付き省略

(第3表-3)

観測所名	既往最高	さく望平	上下弦平	平均潮位	上下弦平	さく望平	既往最低	備 考
観測期間	潮位(m)	均満潮位(m)	均満潮位(m)	(m)	均干潮位(m)	均干潮位(m)	潮位(m)	
年～年								
実 測 値								

第 2 節 土 地 状 況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表－1－1)

事業名	地 区 分	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高(m)		備考
		1/1、000 以下	1/1、000 ～ 1/300	1/300 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 以 上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以 上	計	最 高	最 低	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
区画整理事業	面積 (ha)	－	－	4.0	43.4	－	47.4	0.3	－	－	－	－	－	－	0.3	T. P 144m	T. P 52m	
	比率 (%)	－	－	8.4	91.6	－	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	100.0			
合 計	面積 (ha)	－	－	4.0	43.4	－	47.4	0.3	－	－	－	－	－	－	0.3	－	－	
	比率 (%)	－	－	8.4	91.6	－	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	100.0			

(第4表－1－2)

項 目 土 壤 統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)	備 考
	色	土 壤 断 面						堆 積 様 式	母 材			
		腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 澱 物	土 性							
					表 土	下 層 土						
					一 層	二 層	三 層	泥 炭 層 及 グ ラ イ				
強グライ土壌強粘土還元型	7.5Y3/1	あり	あり	あり	L	HC	L	グライ層	鮮新統	荻ヶ倉凝灰岩	5.2 (0.3)	D30
黒色土壌粘土火山腐食型	7.5YR3/1	あり	なし	あり	CL	CL	CL	-	〃	〃	42.2 (-)	H70
計											47.4 (0.3)	()は畑で外数

該当なしに付き省略

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				カ ン 侵 食 の 程 度		備 考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中 程 度 の	大 な る の	
農 地 保 全	面 積 (ha) 比 率 (%)											

2. 土地分類

該当なしに付き省略

(第4表-2-1)

市町村名	級地別 (ha)	農用地造成										計 (ha)	備考
		一級地				二級地				三級地			
		※ (ha)	3°～8° (ha)	8°～12° (ha)	12°～15° (ha)	※ (ha)	15°～20° (ha)	20°～25° (ha)	25°～30° (ha)	※ (ha)	30°以上 (ha)		
													※は傾斜以外の要因によるもの

該当なしに付き省略

(第4表-2-2)

市町村名	級 地 別 (ha)	干 拓				計 (ha)	備 考
		一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)		

3. 土地利用の状況

(令和6年3月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 樹 園 地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理事業	大和町	47.4	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	54.6	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計		47.4	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	54.6	

4. 土地所有の状況

(令和6年3月現在) (第4表-4)									
事業名	所有別 区分	個人有	市町村有	県有	国有	電力有	土地改良区	計	備考
区画整理事業	面積 (ha)	47.7	6.9	-	-	-	-	54.6	
	受益者数 (人)	32	-	-	-	-	-	-	
	筆数 (筆)	471	212	-	-	-	-	683	
	権利関係	所有権	-	-	-	-	-	-	
	備考 (関係戸数)	32	-	-	-	-	-	-	
合計	面積 (ha)	47.7	6.9	-	-	-	-	54.6	
	受益者数 (人)	32	-	-	-	-	-	-	
	筆数 (筆)	471	212	-	-	-	-	683	
	権利関係	所有権	-	-	-	-	-	-	
	備考 (関係戸数)	32	-	-	-	-	-	-	

第 3 節 水利状況

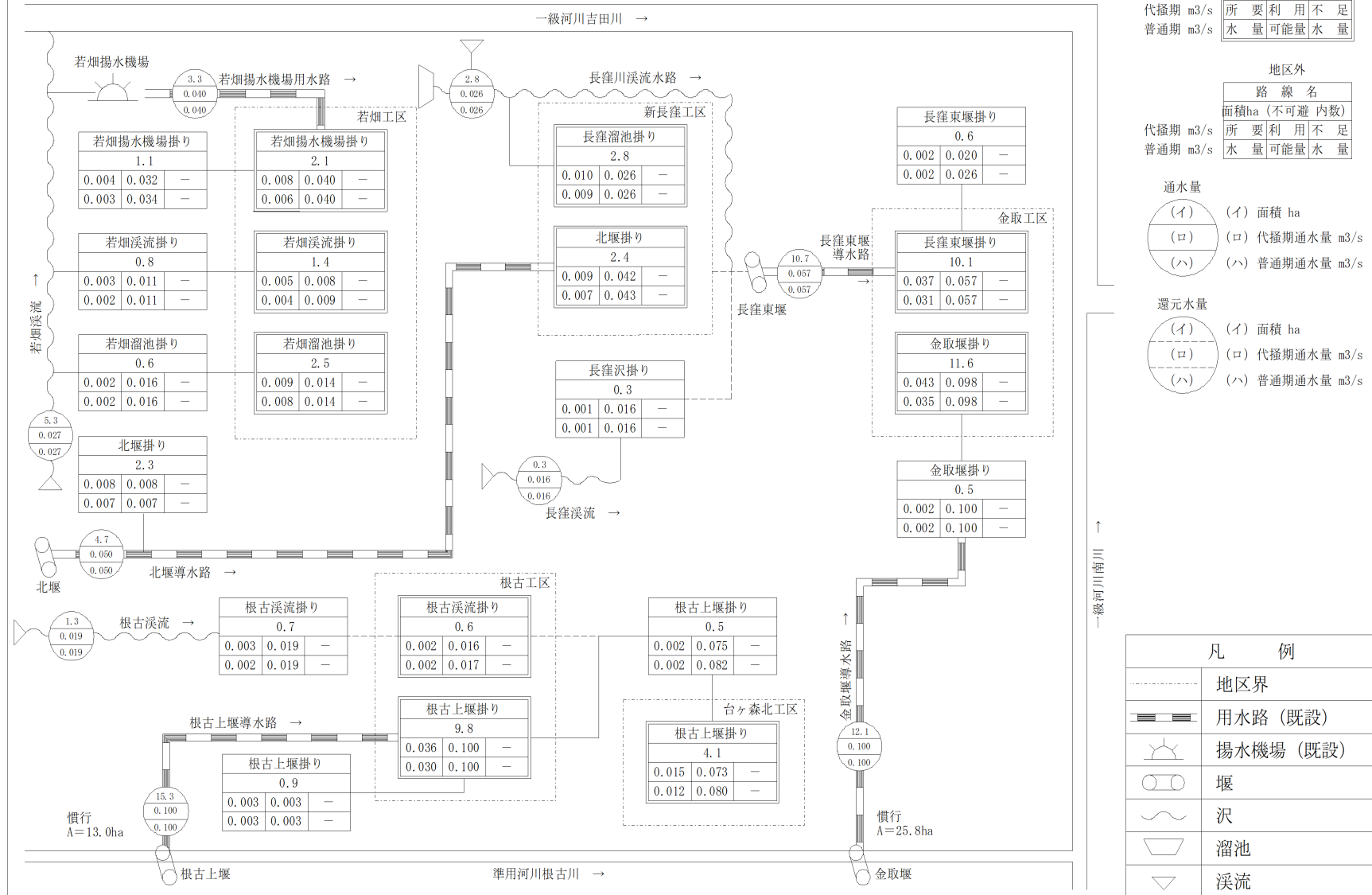
1. 用水状況

本地区の用水の水源は、準用河川根古川を水源とする根古上堰及び金取堰、溪流を水源とする北堰及び長窪東堰、吉田川に流れ込む溪流を水源とする若畑揚水機場、ため池を含む溪流水によりかんがいしている。

かんがい状況は、根古上堰及び金取堰掛かりの根古工区・台ヶ森北工区及び金取工区南側、北堰掛かりの新長窪工区東側、長窪東堰掛かりの金取工区北側、溪流内のため池掛かりの若畑工区南側及び新長窪工区西側、吉田川に流れ込む溪流内若畑揚水機場掛かりの若畑工区に分かれている。地区内の用水路のほとんどが土水路であり、また用排兼用水路で利用している状況であるため、取水、排水、維持管理に支障をきたしているなど、非効率的な営農を余儀なくされている。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500 ha以上		500 ～ 100ha		100 ha 未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s	
区画整理事業	貯水池	-	-	-	-	12	5.9 (5.3)	12	5.9 (5.3)	-	-	-	-	0.019	
	井堰	-	-	-	-	4	42.8 (38.0)	4	42.8 (38.0)	-	-	2	代0.200 普0.200	0.134	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	1	3.2 (2.1)	1	3.2 (2.1)	-	-	-	-	0.009	
	その他	-	-	-	-	-	3.8 (2.0)	-	3.8 (2.0)	-	-	-	-	0.012	
合計		-	-	-	-	17	55.7 (47.4)	17	55.7 (47.4)	-	-	2	代0.200 普0.200	0.174	

()は本地区分

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理事業	貯水池	-	-	-	-	-	-	
	井堰	-	-	-	-	-	-	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	
	用水路	-	47.4	土水路、コンクリート水路等	L=9,037m	S36~H15	老朽化、漏水、用排水分離	
	その他	-	-	-	-	-	-	
合計		-	47.4	-	L=9,037m	-	-	

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況
該当なしに付き省略

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m³)	不足水量				平均減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
	平均 (m³/s)	基準年 (m³/s)	平均 (千m³)	基準年 (千m³)	作物名	減産量(t)				

(イ) その他の被害状況
該当なしに付き省略

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(℃)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況
該当なしに付き省略

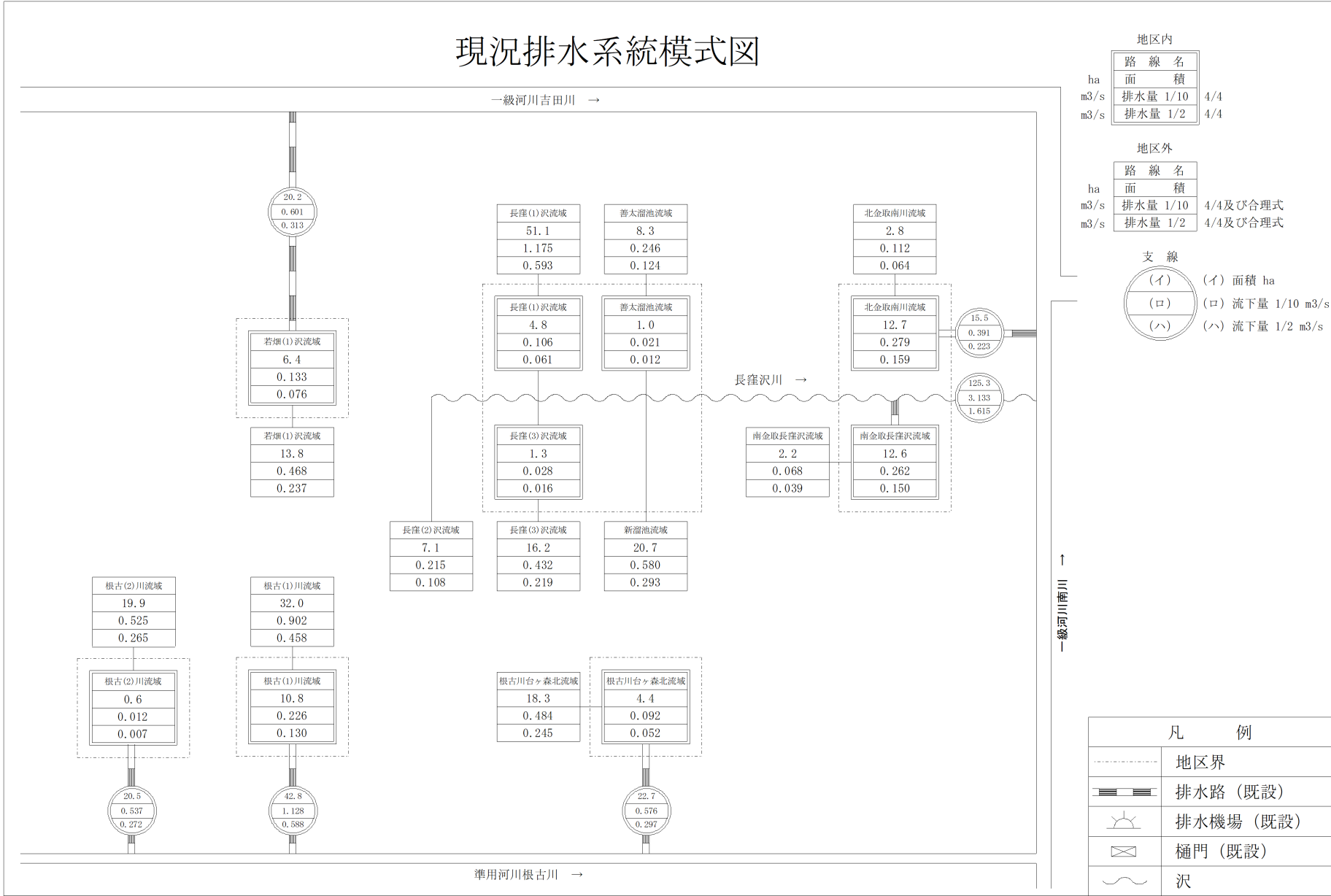
(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				被害想定額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	公共 施設	家屋 その他	計	

2. 排水状況

本地区の排水は、根古工区及び台ヶ森北工区は、工区内の小排水路を流下し準用河川根古川へ直接自然排水されている。若畑工区は、工区内の小排水路を流下し既設沢に直接自然排水され一級河川吉田川に排水されている。新長窪工区・金取工区(南側)は工区内の小排水路を流下し長窪沢川自然排水されている。金取工区(北側)は、工区内の小排水路を流下し一級河川南川へ自然排水されている。また、地区内の排水路は用排兼用水路の土水路・対応年数が過ぎている二次製品水路もあり、水路底も浅く、水管理や排水などの営農に多大な支障を来している状況である。

(1) 排水系統



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
			500 ha 以上		500 ~100ha		100 ha 未満						
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
区画整理事業	自然	排水路	-	-	-	-	-	247.0 (54.6)	-	247.0 (54.6)	6.366	-	
		水門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び 排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び 排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計			-	-	-	-	-	247.0 (54.6)	-	247.0 (54.6)	6.366	-	

()は本地区分

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
区画整理事業	自然	排水路	-	54.6	土水路、フ リウム等	L=4,769m	S36～H15	老朽化、漏水、用排水 分離	-
		水門	-	-	-	-	-		
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-
		水門及び 排水機	-	-	-	-	-		
		排水路及び 排水機	-	-	-	-	-		
		排水機	-	-	-	-	-		
合計			-	54.6	-	L=4,769m	-	-	

(3) 排水に関する被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
	乾								湿	乾	湿	乾	湿				
			平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なしに付き省略

(第5表-7)

項目	河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-8)

項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
区分					
過去の最大被害額					
平均被害額					

第 4 節 道 路 現 況

1. 道路概況

道路系統は本地区に沿って町道台ヶ森線が通り、この道路は本地区の幹線的な道路でアスファルト舗装された道路が整備されており、物流や集落を結ぶ基幹的な道路網である。

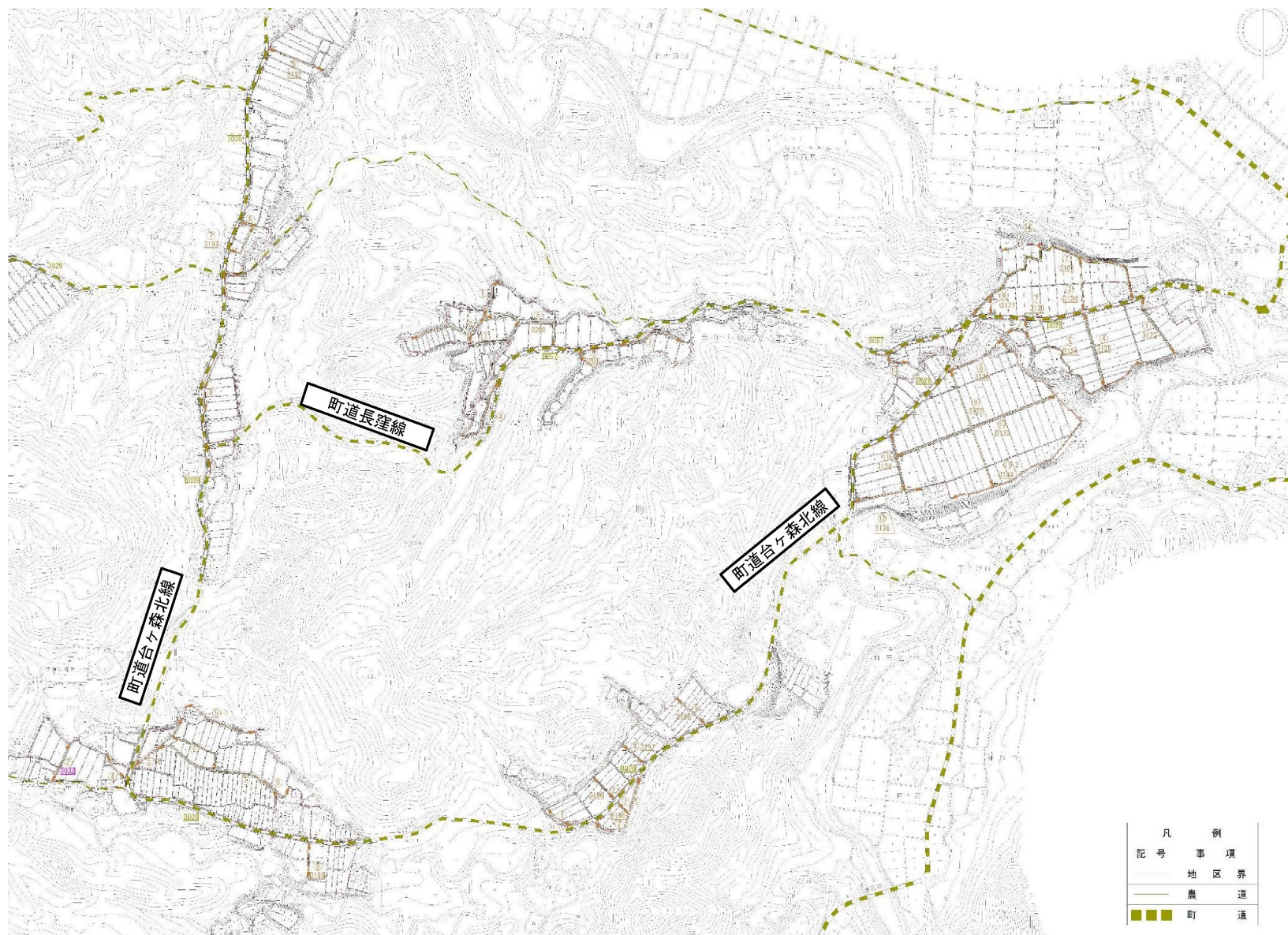
地区内は、上記の町道台ヶ森線へアクセスする農道（砂利）の幅員は2.0m～3.0m程度と狭く、耕作・運搬・営農機械の搬入等に支障をきたしている状況である。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

NO.	路 線 名	管 理 区 分 別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
1	台ヶ森線	大和町	2,529	6.5	5.5	アスファルト	否	
2	長窪線	大和町	393	6.0	4.0	アスファルト	否	
	計	-	2,922	-	-	-	-	

主要道路現況図



第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(令和 5 年版 宮城県統計年鑑による)

(第 7 表-1)

項 目 市 町 村 名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 採 石 業 (人)	砂 利 採 取 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 給 水 道 業 (人)	情 報 通 信 業 (人)	運 輸 業 (人)	郵 便 業 (人)	卸 売 業 (人)	小 売 業 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	物 品 賃 貸 業 (人)	学 術 研 究 専 門 業 (人)	技 術 サ ー ビ ス 業 (人)	宿 泊 業 飲 食 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 (人)	ビ ス 業 娯 楽 業 (人)	教 育 業 (人)	学 習 支 援 業 (人)	医 療 業 (人)	福 祉 業 (人)	複 合 サ ー ビ ス 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 業 (人)	備 考	
大和町	15,615	620	58	1	6	1,538	3,855	54	125	1,363	2,313	183	194	267	611	506	509	1,622	147	984	659											
計	15,615	620	58	1	6	1,538	3,855	54	125	1,363	2,313	183	194	267	611	506	509	1,622	147	984	659											
比 率 (%)	100	4	0	0	0	10	25	0	1	9	15	1	1	2	4	3	3	10	1	7	4											

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(2020年農林業センサスによる)

(第 7 表-2)

項 目 市 町 村 名	農 業 經 營 体 数 (経営体)	經 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (経営体)											1 経営体当たり平均農用地面積 (ha)						耕 地 の 分散状況		専 業 別 農 家 数 (戸)		備 考	
		規 定 外 經 営 し 耕 地	農 家 自 給 的 0.3 未 満	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1 戸 当 たり 団 地 数	団 地 当 たり 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
				~ 0.5	~ 1.0	~ 1.5	~ 2.0	~ 3.0	~ 5.0	~ 10.0	以 上	第 一 種										第 二 種		
大和町	544	14	6	45	127	97	65	62	57	33	14	24	4.27	0.23	0.01	4.51	0.05	4.56	-	-	-	-	-	
計	544	14	6	45	127	97	65	62	57	33	14	24	4.27	0.23	0.01	4.51	0.05	4.56	-	-	-	-	-	
比 率 (%)	100	3	1	8	23	18	12	11	10	6	3	4	94	5	1	99	1	100	-	-	-	-	-	

2020年農林業センサスにおいて、専業・第 1 種兼業・第 2 種兼業農家数の調査は行われていないため記載省

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2020年農林業センサスによる)

(第7表-3)

項 目 市 町 村 名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考
	トラクター		田 植 機		自脱型コンバイン		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		鶏				
	数 量 (台)	経 営 体 数	数 量 (台)	経 営 体 数	数 量 (台)	経 営 体 数	数 量 (頭)	経 営 体 数	数 量 (頭)	経 営 体 数	数 量 (頭)	経 営 体 数	数 量 (100羽)	経 営 体 数			
大和町	-	-	-	-	-	-			2,095	70	0	455	22,146	20	11,627	16	2020年農林業センサス においては、動力農機 具の調査が行われてい ないため記載省略
計	-	-	-	-	-	-			2,095	70	0	455	22,146	20	11,627	16	
100経営体当たり数量 (台、頭、100羽)	-		-		-				385		0		4,071		2,137		
利用数割合 (%)	-		-		-				13		0		4		3		

4. 主要作物作付状況

記載データなしに付き省略

(第7表-4)

市 町 村 名								計	平 均	作 付 率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)											
総 本 地 面 積 (ha)											
区 分		作付面積	単 位 面 積	作付面積	単 位 面 積	作付面積	単 位 面 積	作付面積	単 位 面 積		
作 物 名		(ha)	当たり収量 (Kg/10a)	(ha)	当たり収量 (Kg/10a)	(ha)	当たり収量 (Kg/10a)	(ha)	当たり収量 (Kg/10a)	(%)	
田	水 稲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
畑	野 菜 類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他 作 物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
樹園地	果 樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		-		-		-		-		-	
市 町 村 別 延 べ 作 付 率 (%)		-	-	-	-	-	-	-			

5. 農業の動向

(2020年農林業センサスによる)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A 現在		B	A 現在	作 物 名	B	A 現在	家 畜 名	B	A 現在	農 器 機 名	B	A 現在		
変化の状況C年を100とする指数	総農家数 (経営体数)	78	69	耕 地	175	169	米	157	-	乳 用 牛	84	55	トラクター	-	-	農業振興地域整備計画 S52 農業経営基盤強化の 促進に関する基本構想 R3 酪農、肉用牛生産 近代化計画書 R3 地域水田農業ビジョン R4 野菜指定団地 H7	A：R02年 B：H27年 C：H22年
	専業 農家数	-	-	田	179	169	麦 類	-	-	肉 用 牛	126	101	田植機	-	-		
	第一種兼 業農家数	-	-	畑	70	253	豆 類	1330	1140	豚	-	-	コンバイン	-	-		
	第二種兼 業農家数	-	-	樹 園 地	100	150	野 菜 類	94	119	採 卵 鶏	-	-					
	農 業 徒事者数	72	61	草 地	325	275	果 樹 類	-	-								
変化 の 理 由	他産業への移行および、大規模農家への作業委託が進み農家数の減少。			全体耕地の変動はないものの畑の拡大が大きい。			農地整備が進んだことで集団転作の推進により野菜類の作付け増。			乳用牛・肉用牛が減少傾向にある。			-				
	【2020年農林業センサスにおいて、専業・第1種兼業・第2種兼業農家数の調査は行われていない。】						【2020年農林業センサスにおいて、麦類・野菜類・果樹類の調査結果は大半の市町村が公表されていない。】						【2020年農林業センサスにおいて、動力農機具の調査は行われていない。】				

第 6 節 地域環境の概況

本地区の地区内の用排水路は、スナヤツメ、ドジョウ類、ギバチ、ジュズカケハゼなど5種の魚類、両生類等では、トウキョウダルマガエル、ツチガエルの2種、その他マルタニシ、マツカサガイなど2種の生物が生息し、豊かな自然を有する地域である。

第 4 章 一 般 計 画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

吉田金取北地区の水田は20a区画もあるが10a区画と不整形区画がほとんどであり、用排水路兼用でありまた道路幅員が狭小のため、機械による効率的な営農が困難であり、農業経営には多くの労力を必要とし、生産性が低く農業競争力の強化、食料自給率の向上、農業の多面的役割、農村の活性化を総合的に可能にする農業の確立へ向け大きな支障となっている。

したがって、当事業によりほ場の大区画化、道路・末端用排水路、暗渠排水等の整備を一体的に行い、耕地の汎用化や水管理等の合理化を図るとともに、農地の利用集積と経営体の育成・支援を一体的に行い、効率的かつ安定的な農業経営の確立を目指すものである。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	区画整理事業												計	備 考
	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小 計	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	・ ・ ・	小 計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	42.3	0.3	-	-	-	42.6	-	-	-	-	-	-	42.6	
暗渠排水	42.3	-	-	-	-	42.3	-	-	-	-	-	-	42.3	
計	42.3	0.3	-	-	-	42.6	-	-	-	-	-	-	42.6	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

(1) 経営方式

本地区は、水稻・野菜を基幹作物とした複合経営を行い、生産法人への農地の集積を図り、農業機械の効率的利用による近代的農業の確立を目指す。

(2) 経営組織及び作業体系

法人1組織により、作物別に効率的作業が行えるよう生産体制の整備を図るとともに、農業機械の効率的利用を行い農業経営の安定を図る。

2. 土地利用区分

(第9表－1)

事業名	土地利用区分		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	区	分												
区画整理事業	現	況	47.4	0.3	－	－	－	－	47.7	－	－	6.9	54.6	
	計	画	42.3	0.3	－	－	－	－	42.6	－	－	12.0	54.6	
	現	況												
	計	画												
計	現	況	47.4	0.3	－	－	－	－	47.7	－	－	6.9	54.6	
	計	画	42.3	0.3	－	－	－	－	42.6	－	－	12.0	54.6	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備考								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12									
区 画 整 理 事 業	現 況	水稲 ＋ 野菜	田 ＋ 畑				水 稲											水 稲													水 稲																	
							飼 料 用 米												飼 料 用 米													飼 料 用 米																
							大 豆												大 豆													大 豆																
							大 麦 ・ 小 麦												大 麦 ・ 小 麦																													
							ね ぎ												ね ぎ														ね ぎ															
区 画 整 理 事 業	計 画	水稲 ＋ 野菜	田 ＋ 畑				水 稲											水 稲													水 稲																	
							大 豆												大 豆													大 豆																
							(大 麦)												(大 麦)																													
							ね ぎ											ね ぎ															ね ぎ															

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項 目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳(t)		備 考
			現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	単位面積 当たり 収量増加	
区 画 整 理 事 業	水 田	水 稻	25.8	24.8	△1.0	59	61	449	461	12	115.8	114.3	△1.5	△4.5	2.9	
		飼料用米	0.3	-	△0.3	1	-	449	-	△449	1.3	-	△1.3	△1.3	-	
		大 豆	1.8	13.8	12.0	4	34	101	167	66	1.8	23.0	21.2	20.0	1.2	
		(大麦)	-	13.8	13.8	-	34	155	155	-	-	21.4	21.4	21.4	-	
		大麦	5.5	-	△5.5	13	-	155	-	△155	8.5	-	△8.5	△8.5	-	
		小 麦	1.5	-	△1.5	3	-	265	-	△265	4.0	-	△4.0	△4.0	-	
		ね ぎ	0.6	1.9	1.3	1	5	1,532	1,532	-	9.2	29.1	19.9	19.9	-	
		自己保全管理	8.2													
	普 通 畑	大 麦	0.3	-	△0.3	-	-	155	-	△155	0.5	-	△0.5	△0.5	-	
		ね ぎ	-	0.3	0.3	-	-	1,532	1,532	-	-	4.6	4.6	4.6	-	
	合 計		44.0	54.6	18.8	81	134	-	-	-	-	-	-	-	-	

5. 労働改善計画

(第9表-4)

（第 3 表 - 4）

事 業 名	項 目 土地 利用区分	作 物 名	作 付 面 積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備 考
				区 分	現 況	計 画	増 減	
区 画 整 理 事 業	水 田	水 稻	24. 8	人 力	124. 7	97. 0	△27. 7	
				機械力	33. 6	17. 4	△16. 2	
		大豆	13. 8	人 力	75. 9	29. 2	△46. 7	
				機械力	66. 4	22. 7	△43. 7	
		(大麦)	13. 8	人 力	49. 1	29. 0	△20. 1	
				機械力	39. 9	25. 0	△14. 9	
		ねぎ	1. 9	人 力	3,813. 2	1,970. 7	△1,842. 5	
				機械力	213. 0	560. 7	347. 7	
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
	普通畑	ねぎ	0. 3	人 力	3,813. 2	1,970. 7	△1,842. 5	
				機械力	213. 0	560. 7	347. 7	
				人 力				
機械力								
合	計	54. 6		-	-	-		

6. 級地別土地利用区分

該当なしに付き省略

(第9表-5)

区 分 級 地		農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
土 地 利 用 区 分												
農 地	田											
	輪 換 耕 地											
	畑											
	(普 通 畑)											
	(牧 草 畑)											
	樹 園 地											
	(果 樹 園)											
	(桑 園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画

該当なしに付き省略

(第9表-6)

項 目 区 分		配 分 戸 数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)					備 考	
			田	輪換耕地	畑				計
					普通畑	牧草畑	樹園地		
増 反		()	()	()	()	()	()	()	
入 植		()	()	()	()	()	()	()	

第 3 節 用 水 計 画

1. 計画基準年

かんがい期間の連続干天、有効降雨日数、有効雨量の確率処理により、10年確率相当の干ばつ年を選定した。

かんがい期有効雨量	538mm
連続旱天日数	25日 1/10確率
河川渇水位	-

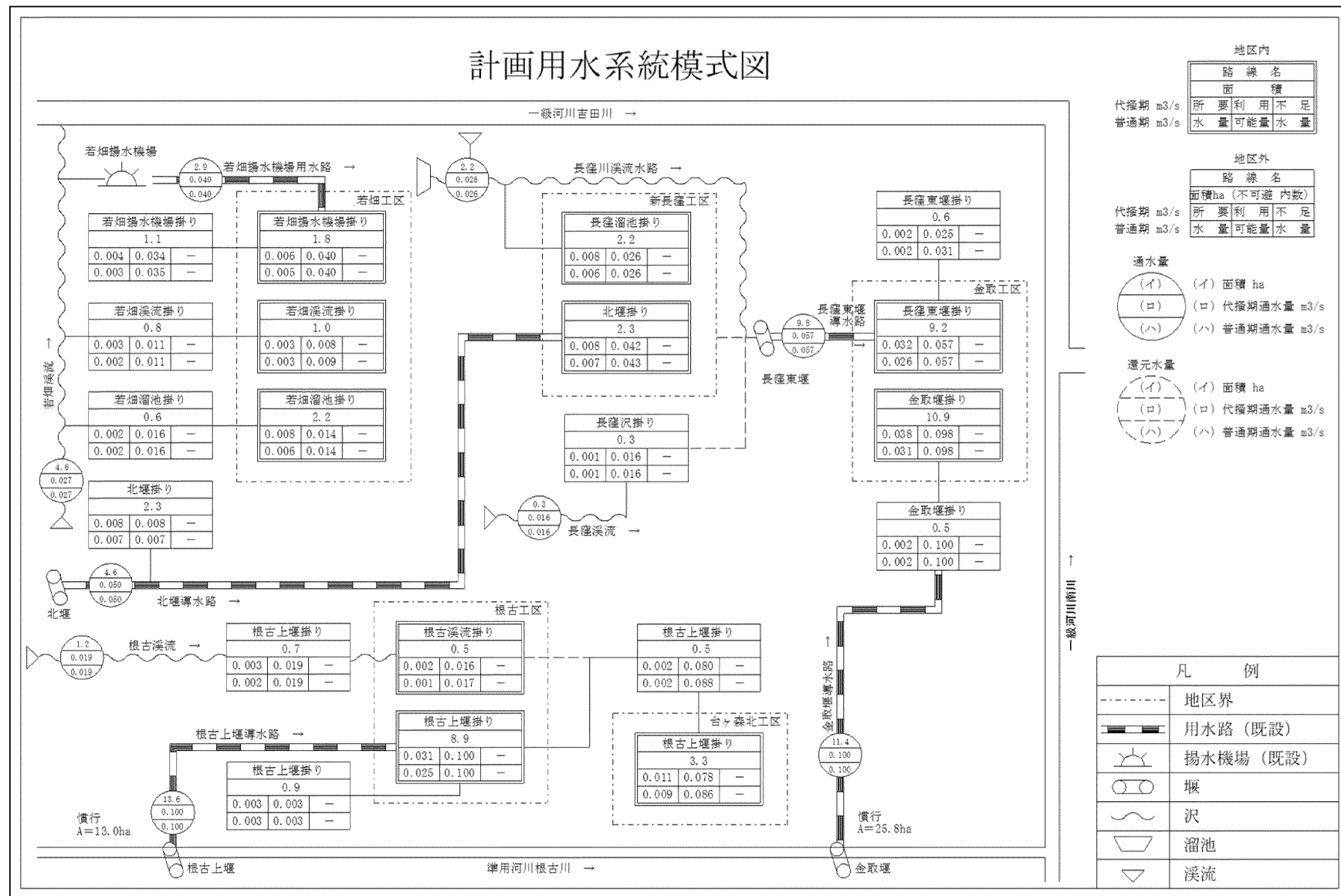
2. 計画かんがい方式

水 田 水 稻	湛水かんがい	かんがい期間	1 1 8 日	5 月	6 日	～	8 月	3 1 日
		(代掻期間)	1 5 日	5 月	6 日	～	5 月	2 0 日

畑 地 うね間かんがい

本地区の現況用水系統の水源は、①準用河川根古川を水源とする根古上堰及び金取堰、②溪流を水源とする北堰及び長窪東堰、③吉田川に流れ込む溪流を水源とする若畑揚水機場、④ため池を含む溪流水であり、計画においてもこれらの水源を活用する。
本地区のかんがい方式は、地区形状、営農条件などから現況と同様に開水路計画とする。

3. 計画用水系統



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項 目 系 統 名	種 別	面積(ha)	水 田 か ん が い			水 田 畑 利 用			畑 地 か ん が い			そ の 他		消 費 水 量 (m³／S)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量		備 考
		事 業 名 区画整理 事業	普 通 期	代かき期	面 積 (ha)	一 日 平 均 か ん 水 深 計 画 (mm／日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	一 日 平 均 か ん 水 深 計 画 (mm／日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm／日)	面 積 (ha)			平 均 (m³／S)	最 大 (m³／S)	
			計 画 平 均	計 画 代 か き														
			単 位 用 水 量 (mm／日)	単 位 用 水 量 (mm／日)														
金取堰掛り	農 業	10.9	19.4	25.5	10.9	－	－	－	－	－	－	－	－	代0.032 普0.026	15	0.038	0.031	
根古上堰掛り	農 業	12.2	19.4	25.5	12.2	－	－	－	－	－	－	－	－	代0.036 普0.030	15	0.042	0.034	
北堰掛り	農 業	2.3	19.4	25.5	2.3	－	－	－	－	－	－	－	－	代0.007 普0.006	15	0.008	0.007	
長窪東堰掛り	農 業	9.2	19.4	25.5	9.2	－	－	－	－	－	－	－	－	代0.027 普0.022	15	0.032	0.026	
溪流・溜池掛り	農 業	5.9	19.4	25.5	5.9	－	－	－	－	－	－	－	－	代0.016 普0.013	15	0.021	0.016	
若畑揚水機場掛り	農 業	1.8	19.4	25.5	1.8	－	－	－	－	－	－	－	－	代0.005 普0.004	15	0.006	0.005	
計		42.3	－	－	42.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.147	0.119	

(2) 営農飲雑水

該当なしに付き省略

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日 当 給 水		補 給 回 数 (回)	関 係 戸 数 (戸)	備 考
		事 業 名			単位給水量	最大給水量			
					(ℓ/日)	(ℓ/日)			

5. 水 源 計 画

(1) 水利用計画

該当なしに付き省略

(第10表-2)

項 目 区 分	消費水量	有効雨量	純用水量	祖用水量	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 水 量		水 源 依 存 量		水源工種	備 考
	a	b	c=a-b	d=	水 源 名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可 能 量	純不足量	全不足 水 量	水 源 名	水 量	水源工種	α :損失率
	(千 m^3)	(千 m^3)	(千 m^3)	c/(1- α) (千 m^3)		e (千 m^3)	f (千 m^3)	g=c-f (千 m^3)	h=d-e (千 m^3)		(千 m^3)		
													$\alpha = \%$

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なしに付き省略

(第10表-3)

項 目 貯 水 池 名	流域面積 (km ²)		かんがい面積(ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名							
	直 接	間 接			計					

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なしに付き省略

(第10表-4)

項 目 貯 水 施 設 名	河 川 名	流域面積 (km ²)	かんがい面積(ha)			取 水 量 (m ³ /s)		渴 水 量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最 大	平 均		
					計				

該当なしに付き省略

(第 10 表-5)

()は本地区分

(第 10 表-6)

() は地区内

該当なしに付き省略

該当なしに付き省略

第 4 節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量

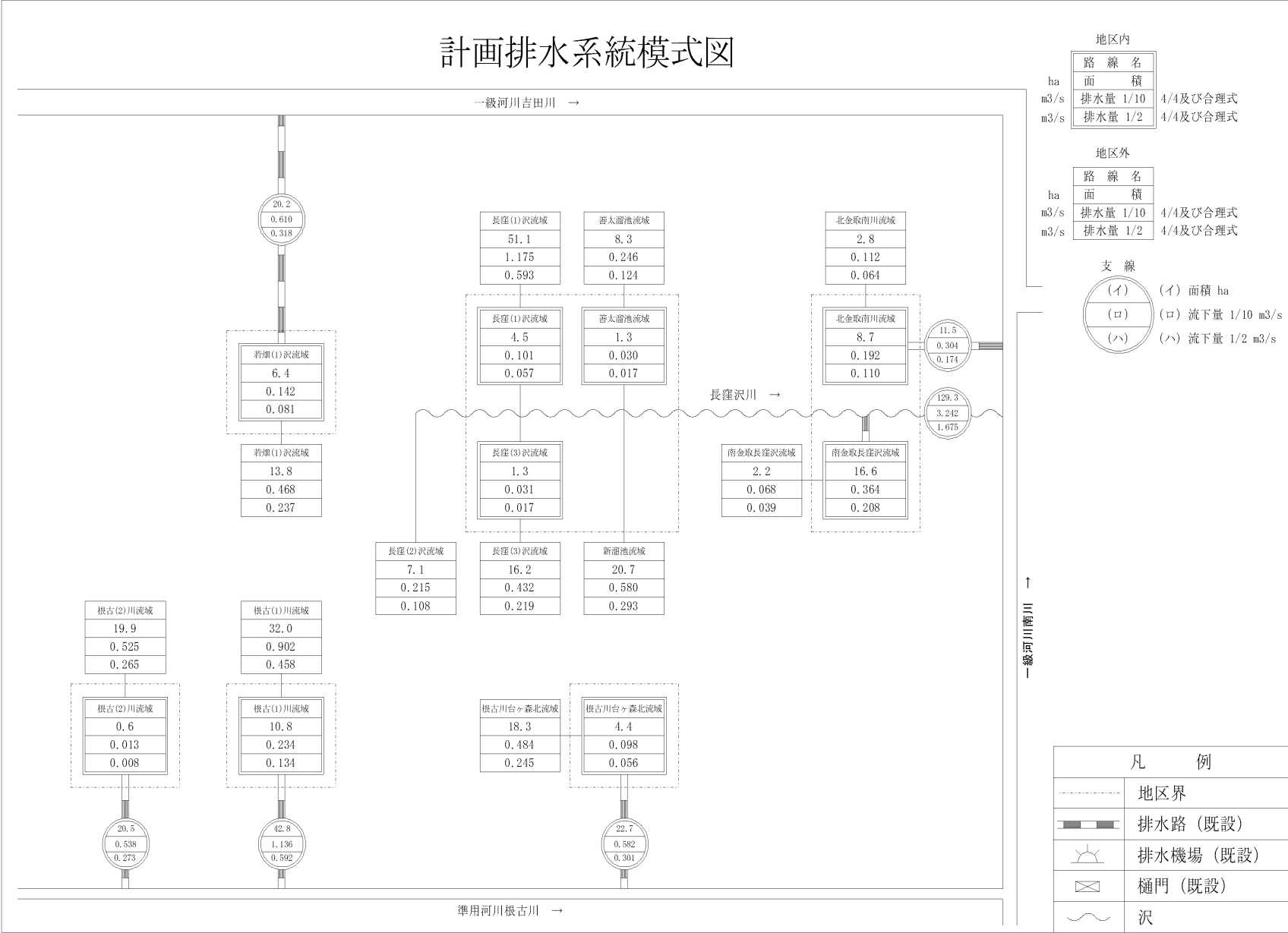
排水諸元は、「大衡観測所」における1943（昭和18年）から2022（令和4年）までの79間の観測資料をもとに、岩井法によって確率計算した1 / 1 0 年確率最大日雨量 $R_{24}=157.9\text{mm}$ および 1 / 2 年確率最大日雨量 $R_{24}=89.8\text{mm}$ を基準雨量として採用する。

確 率 年	最 大 日 雨 量
1 / 2 年確率	89.8 mm
1 / 1 0 年確率	157.9 mm

2. 計画排水方式

本地区の排水は、一級河川吉田川、一級河川南川、同支流準用河川根古川・各沢であり、排水先は現状と同じとし自然排水計画とする。

3. 計画排水系統



4. 計画排水量

(第11表-1)

項 目 排水系統名	受益面積 (ha)	流 域 面 積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位 流出量(m ³ /S/Km ²)		基 底 流 出 量 (m ³ /S/Km ²)		全排水量(m ³ /S)		単位排水量 (m ³ /S/Km ²)		備 考	
		山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地		山 地		平 地
										自然排水	機械排水			
北金取南川	8.7	0.013	0.102	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907	－	－	0.304	－	2.643			
南金取長窪沢	16.6	0.018	0.170	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907	－	－	0.432	－	2.298			
根古台ヶ森北	4.4	0.174	0.053	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907			0.582	－	2.564			
根古(1)川	10.8	0.266	0.162	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907	－	－	1.136	－	2.654			
根古(2)川	0.6	0.191	0.014	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907			0.538	－	2.624			
若畑(1)沢	6.4	0.109	0.093	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907			0.610	－	3.020			
長窪(1)沢	4.5	0.501	0.055	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907			1.276	－	2.295			
長窪(2)沢	－	0.068	0.003	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907			0.215	－	3.028			
長窪(3)沢	1.3	0.155	0.020	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907			0.463	－	2.646			
善太溜池	1.3	0.080	0.016	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907			0.276	－	2.875			
新溜池	－	0.199	0.008	157.9	1.565 ～2.013	1.342 ～2.907			0.580	－	2.802			
計	54.6	1.774	0.696						6.412		2.596			

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なしに付き省略

(第11表-2)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 本 川			備 考
		事 業 名					排 水 量 (m ³ /S)	地区内湛水深 (m)	名 称	
				計						

(2) 排 水 機

該当なしに付き省略

(第11表-3)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 機				備 考
		事 業 名					實 揚 程 (m)	排 水 量 (m ³ /S)	台 数 (台)	全 排 水 量 (m ³ /S)	
				計	排 水 量 (m ³ /S)	地区内湛水深 (m)					

(3) 排 水 路

(第11表-4)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)		計 画 排 水 量 (m ³ /S)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名					名 称	計 画 洪 水 量 (m ³ /S)	計 画 洪 水 位 (m)	
		区画整理事業	計							
排水路工	0.003 ~0.331	54.6	54.6	0.007~0.908	7.104	排水フリューム	一級河川 南川 準用河川 根古川	-	-	
計			54.6		7.104					

(4) そ の 他

該当なしに付き省略

6. 湛 水 検 討

該当なしに付き省略

第 5 節 道 路 計 画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項 目 路 線 名	幅 (有効) × 延 長 (m) (km)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係	備 考
支線道路	5.0(4.0) × 7.496	敷 砂 利	-	
耕作道路	4.0(3.0) × 0.031	敷 砂 利	-	
計	7.527			

(2) 索 道

該当なしに付き省略

(第12表-2)

項 目 路 線 名	能 力(t/hr)	延 長(m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路線配置図



第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

該当なしに付き省略

(第 13 表-1)

項 目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 状	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図

該当なしに付き省略

2. 土 壌 改 良

該当なしに付き省略

(第 13 表-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)	土壌統(区)名	P H		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係 数 (mg/100ml)	ha 当 たり 所 要 量			備 考
			H2O	K C L			石 灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有 機 質 資材(t)	

第 7 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なしに付き省略

2. 計画洪水量及び調節量

該当なしに付き省略

(第 14 表-1)

地 点	流 域 面 積 (km ²)	洪 水 到達時間 (hr)	計 画 洪 水 量 (m ³ /S)	安 全 洪 水 量 (m ³ /S)	必 要 調 節 量 (m ³ /S)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /S)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /S)	調 節 後 最大流量 (m ³ /S)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /S)	最大調節量 (m ³ /S)

3. 貯 水 池

該当なしに付き省略

(第 14 表-2)

項 目 貯 水 池 名	流 域 面 積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /S)	貯 水 量 (千m ³)			計画調節 流 量 (m ³ /S)	可能調節流量 (m ³ /S)	備 考
	直 接	間 接		有 効	洪水調節容量	他 目 的			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なしに付き省略

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なしに付き省略

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なしに付き省略

5. 管理計画

(1) 管理機構

該当なしに付き省略

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当なしに付き省略

(3) 洪水調節要領

該当なしに付き省略

第 8 節 干 拓 計 画

該当なしに付き省略

(第 15 表)

名 称	項 目	延 長 (m)	計画高潮 (水) 位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第 9 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺 (m)	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
125・120×80・100	1.0ha以上	2.2	5.2	0.1～1.4未満	
130×60	0.5～1.0ha未満	22.2	52.0	〃	
90×50	0.2～0.5ha未満	14.3	33.6	〃	
不 整 形	0.2未満	3.9	9.2	〃	
	小 計	42.6	100.0		
計		42.6	100.0		

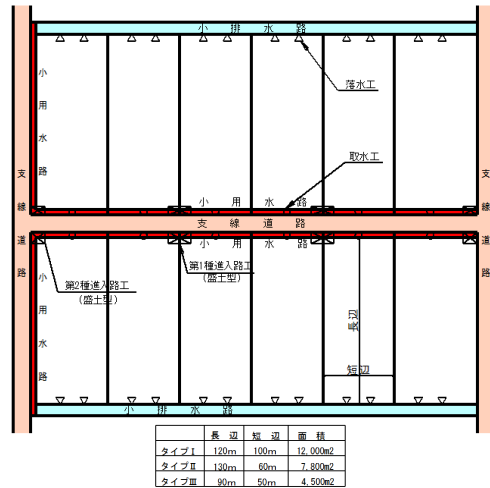
(2) 表土扱い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表 土 扱 い 要 否 の 理 由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
42.3	作土深確保	15	63,450	

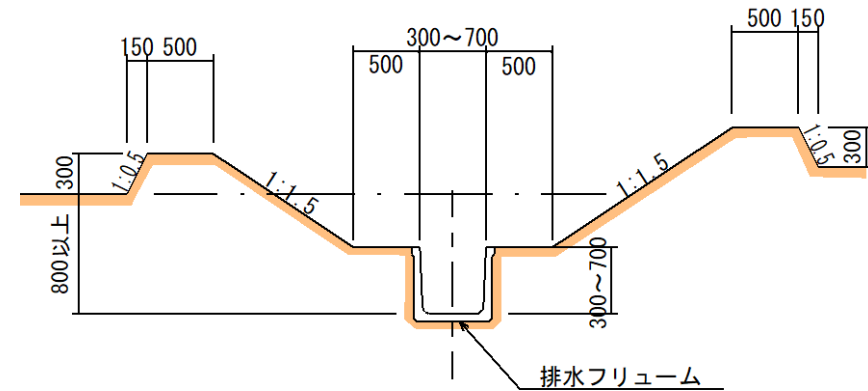
(3) 末端道水路配置図

標準区画割図



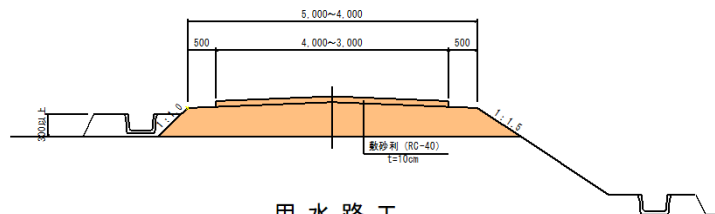
排水路工

支線・小排・承水路 HF700×700~HF300×300

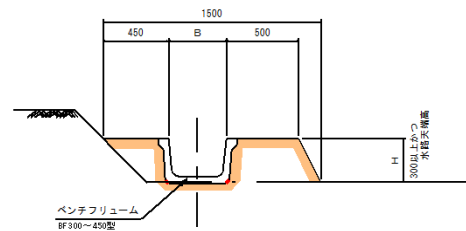


標準構造図

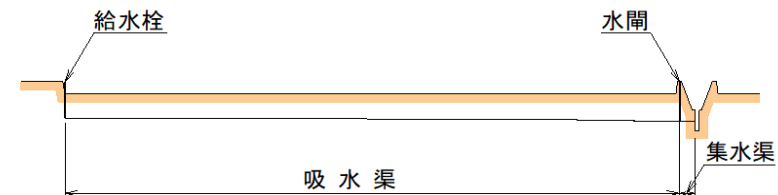
支線・耕作道路



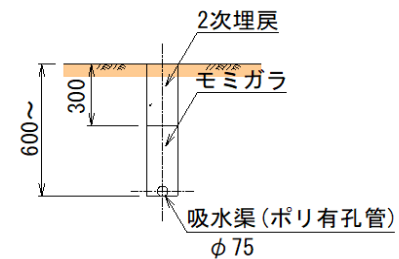
用水路工



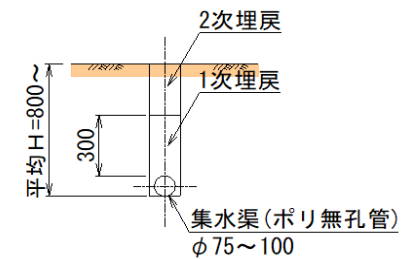
暗渠排水断面



吸水渠断面



集水渠断面



2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)		土 壤 統 (区) 分	基 準 雨 量 (mm/日)	単 位 排 水 量 (m³/S/ha)	計 画 後 水 位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
	事 業 名							
	区画整理事業	計						
本暗渠	42.3	42.3	強クライ土壤 強粘土還元型 (D30) 黒色土壤 粘土火山腐食型 (H70)	157.9	0.0035	0.5	小排水路へ 直接排水	地表残留水 30mm/日
計	42.3	42.3						

(2) 心土破碎

該当なしに付き省略

(第16表-3-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)		土 壤 統 (区) 分	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名				
		計			
計					

3. 客 土

該当なしに付き省略

(第16表-4)

(第18表-4)											
項 目 区 分	面 積 (ha)		土 壤 統 (区) 名	減 水 深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客 土 量 (m³)	土 壤 の 性 質		備 考
	事 業 名			現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
		計									
計											

4. 農地保全

(1) 防災林

該当なしに付き省略

(第16表-5-1)

項 目 区 分	最 大 風 速 (m/S)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

該当なしに付き省略

(第16表-5-2)

項 目 名 称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /S/ha)	全排水量 (m ³ /S)	

(3) 侵食（崩壊）防止工

該当なしに付き省略

(第16表-5-3)

項 目 施 設 名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
計				

第 10 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当なしに付き省略

(2) 計画洪水量

該当なしに付き省略

2. 堤体補強計画

該当なしに付き省略

3. 取水施設改修計画

該当なしに付き省略

第 5 章 主 要 工 事 計 画

第 1 節 用 水 施 設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

(第 17 表－1)

名 称		流域面積 (Km ²)		位 置					備 考	
堤 体	型 式			堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m ³)	基礎基盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		
		直 接	間 接					総貯水量		有効貯水量
洪水吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /S)		取水施設	型 式	取 水 量 (m ³ /S)	放 流 施 設	型 式	放 流 量 (m ³ /S)	

2. 頭 首 工

該当なしに付き省略

(第 17 表－2)

名 称	位 置			備 考		
形 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m ³ /S)
		固 定 部	可 動 部	計		

3. 揚 水 機

該当なしに付き省略

(第 17 表－3)

項 目 名 称	位 置	揚水量 (m ³ /S)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 (Kw)	台 数 (台)	
計											

4. 用 水 路

該当なしに付き省略

(第17表-4)

項 目 水 路 名	かんがい面積 (ha) 事 業 名		通 水 量 (m³/S)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
		計		開 き よ	トンネル そ の 他	計				
計										

5. その他かんがい施設

該当なしに付き省略

第 2 節 排水施設

1. 排水水門

該当なしに付き省略

(第18表-1)

項 目 名 称	位 置	型 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m³/S)	備 考

2. 排 水 機

該当なしに付き省略

(第18表-2)

項 目 名 称	位 置	排 水 量 (m³/S)	揚 程 (m)		排 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 ()	台 数 (台)	

3. 排水路

該当なしに付き省略

(第18表-3)

項 目 水 路 名	受 益 面 積 (ha)		排 水 量 (m³/S)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主 要 構 造 物	備 考
	事 業 名	計		開 き よ	トンネル そ の 他	計				
計										

4. その他排水施設

該当なしに付き省略

第 3 節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

該当なしに付き省略

(第19表-1)

項 目 区 分	路 線 名	幅 (有効) × 延 長 (m) (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
計										

(2) 道路主要構造物

該当なしに付き省略

(第19表-2)

項 目 路 線 名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考

2. 索道
該当なしに付き省略

(第19表-3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ()	

第 4 節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根
該当なしに付き省略

(第20表-1)

項 目 区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(2) 除 礫
該当なしに付き省略

(第20表-2)

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開墾作業
該当なしに付き省略

(第20表-3)

項 目 区 分		面 積 (ha)	工 法	備 考
地目	造成工法			

(4) 地目変換
該当なしに付き省略

(第20表-4)

項 目 区 分	面 積 (ha)	工 法	備 考

(5) 末端用水路等
該当なしに付き省略

(第20表-5)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(6) 末端排水路等
該当なしに付き省略

(第20表-6)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 土壌改良

該当なしに付き省略

(第20表-7)

区 分 \ 項 目	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考

第 5 節 洪水調節施設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

2. 頭首工及び導水施設

(1) 頭 首 工

該当なしに付き省略

(第21表-2)

名 称			位 置				備 考		
型 式	集 水 面 積 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)			計画洪水位 (m)			付帯設備
			固定部	可動部	計				

(2) 導水施設

該当なしに付き省略

(第21表-3)

水路名	通水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防

該当なしに付き省略

(第22表-1)

項 目 名 称	型 式	延 長 (m)	構 造					原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	最 低	

2. 潮止め

該当なしに付き省略

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設

該当なしに付き省略

4. 埋立

該当なしに付き省略

(第22表-3)

区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m³)	面 積 (ha)	土 量 (m³)	
金取工区 台ヶ森北工区 根古工区 若畑工区 新長建工区	42.6	125×80 120×100 130×60 90×50	-	42.3	63,450	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区 分 \ 項 目	数 量 (ヶ所, km)	規 模 (ha)	構 造	備 考
用水路	9.392	42.3	ベンチリウム	

()は本地区分

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区 分 \ 項 目	数 量 (km)	規 模 (ha)	構 造	備 考
排水路	7.104	54.6	排水リウム	

(4) 末端道路等

(第23表-4)

区 分 \ 項 目	数 量 (km)	規 模 (路線)	構 造	備 考
道 路	7.527	36	砂 利	

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

区 分	項 目	面 積 (ha)		集 水 渠				吸 水 渠					集水渠出口以下の排水施設			備 考	
		事 業 名		勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造		数 量 (m/ha)
		区画整理事業	計														
	本 暗 渠	42.3	42.3	1/2000	ポリ管	φ75 ~125	90	1/2000	ポリ管	φ 75	0.6	10	900	小排水路	排水 フルーム	-	
	計	42.3	42.3														

(2) 心土破碎

該当なしに付き省略						(第23表-4-2)
区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

3. 客 土

該当なしに付き省略							(第 2 3 表－ 5)
項 目 区 分	面 積 (ha)		客入土量 (m³)	土取場土量 (m³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
	事 業 名						
	計						
計							

4. 除 礫

該当なしに付き省略						(第23表-6)
区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

5. 農地保全

(1) 防 風 林

該当なしに付き省略							(第23表-7)
区 分	項 目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考

(2) 排 水 路

該当なしに付き省略					(第23表-8)
区 分	項 目	延 長 (m)	流 量 (m ³ /S)	構 造	備 考

(3) 侵食防止工

該当なしに付き省略

(第23表-9)

区 分	項 目	構 造	数 量	備 考

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

(第24表)

名 称					位 置				
堤 体	形 式	流 域 (Km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m ³ /S)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備 考	
洪 水 吐	形 式	洪水量 (m ³ /S)	規 模 (m)	備 考	取水施設	形 式	取水量 (m ³ /S)	備 考	

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該当なしに付き省略

(2) 漏水防止工

該当なしに付き省略

第 6 章 附 帯 工 事 計 画

該当なしに付き省略

第 7 章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

着 工 : 令和 7 年度

完 了 : 令和 11 年度

第 8 章 環 境 と 調 和 へ の 配 慮

事業実施に際しては、排水路の一部に両生類の移動経路連続性確保（排水路の脱出用スロープ）の整備、更に排水路の一部に底盤のない製品を設け魚類等生態系への配慮を行う。

第 9 章 換 地 計 画 の 概 要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区の換地計画は、工事によって土地の区画が変更されることに伴い、土地所有権及びその他の権利確定と、農用地の集団化その他、農業経営の合理化を達成するため樹立するものである。

このため、換地計画に当たっては従前の土地を基準とし、権利の明確化を図り集落単位の集団化と更に個人別集団化を図ることとする。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第 25 表 - 1)

換地区名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
吉田金取北	黒川郡大和町吉田字金取北	54.6

2. 換地区を設定する理由

該当なしに付き省略

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
吉田金取北	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合は、その申し出があった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表-3)

用途 (取得予定者) 換地区名		非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地								機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計				
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に 含める土地 (令第1条の9()書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計				
						土地 改良	施設	その他		改良 区	その他	計	宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 化	施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上	必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用	施 設 用 地	宅 地 等	計						
吉 田 金 取 北	従前の土地	47.4	0.3	-	-	-	-	-	47.7	-	-	-	47.7	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	6.9	-	54.6	
	換地	42.3	0.3	-	-	-	-	-	42.6	-	-	-	42.6	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.0	12.0	-	54.6	
合 計	従前の土地	47.4	0.3	-	-	-	-	-	47.7	-	-	-	47.7	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	6.9	-	54.6	
	換地	42.3	0.3	-	-	-	-	-	42.6	-	-	-	42.6	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.0	12.0	-	54.6	

3. 農地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
吉田金取北	集落別の集団化とともに担い手農家の所有農地が面的集積の核となるように集団化を図り、大区画の効用を十分に発揮できるように配慮する。	個人別の位置については、各人の従前の土地の利用等を考慮して集団化を図るが、担い手農家による生産集積が行われ易いように集団化を図り、大区画の効用を十分に発揮できるよう配慮するものとする。	1.5団地	区画畦畔の取り扱いについては、大区画の機能を損なわないよう固定畦畔とし、分割する場合には畦畔を築立せず杭による分割表示を基本とする。

4. 非農用地の換地方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
吉田金取北	道路	大和町吉田字若畑	497.00	特定用途用地	従前地所有者（個人）	

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

従前の評価は、それぞれの土地の自然条件及び利用条件について点数により評価し、その点数ごとの評価額を定めて、従前の土地と換地の土地条件が見合っているか判断する。従前の土地の中から農業条件がそろった最もよい土地を標準地として選定し、その標準地との比較は、土地の自然条件が及び利用条件の評価項目を定め、その条件差を考慮して増減点評価する標準地比準評価方式により評価する。

2. 清算の方法

清算は、従前の土地の評価総額と換地の評価総額との差額（増価額）を地積に比例して、各従前の土地に按分し、この按分額とその従前の土地の価額とを合計して換地交付基準額を定め、これと換地額の価額との差を徴収、交付する比例地積清算方式によって行う。

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第 2 5 表－ 6)

区 分 換 地 区 名	一 時 利 用 地 の 指 定 年 度	換地計画の 決 定 年 度	換地処分 予定年度	備 考
吉田金取北	令和 8 年度 から 令和 10 年度 まで	令和 11 年度	令和 11 年度	

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

地区全体の区画整理工事が完了し、確定測量が行われた時は、土地改良法第 8 9 条の 2 第 1 0 項において準用する同法第 5 4 条第 2 項本文の規定ただし書きに基づき換地処分を行うことができる。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 6 表)

区 分	種 目	事 業 量	事 業 費 (千円)	備 考
区 画 整 理 工		A= 42.6 ha	1,097,000	R6年度
暗 渠 排 水 工		A= 42.3 ha	93,000	
客 土 工		-	-	
測 量 試 験 費		一 式	95,000	
用地買収補償費		一 式	44,000	
換 地 費		一 式	54,000	
	小 計		1,383,000	
	事 務 的 経 費	一 式	69,000	
	計		1,452,000	
関連事業 (参考)				
	計			

第 11 章 効 用

(第 27 表)

事業名	項 目	年総効果（便益）額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
	区 別			
区 画 整 理 事 業	作 物 生 産 効 果	14,785	2,918	R6年度単価
	営 農 経 費 節 減 効 果	72,526	73,418	
	維 持 管 理 費 節 減 効 果	△3,460	1,242	
	労 働 環 境 改 善 効 果	2,148	-	
	景 観 ・ 環 境 保 全 効 果	574	-	
	国産農産物安定供給効果	4,037	-	
	水田貯留機能向上効果	2,209	-	
	計	92,819	77,578	

	総費用額	1,443	百万円
(参考)	総便益額	1,695	百万円

第 12 章 関 連 す る 事 業

該当なしに付き省略

(第 28 表)

区 分	事 業 名	事業主体	受益面積 (ha)	備 考

() 地区内受益及び流域

第 13 章 現 況 ・ 計 画 図 面

1. 計画一般図
2. 計画平面図
3. 土地利用計画図

県 営 吉 田 字 金 取 北 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3

県 営 吉 田 字 金 取 北 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3

県 営 吉 田 字 金 取 北 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3

県 営 吉 田 字 金 取 北 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3

県 営 吉 田 字 金 取 北 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3

県 営 吉 田 字 金 取 北 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3